# 正しくお使いいただくために

本書では、934SH を本機と表記します。あらかじめご了承ください。
各機能の操作については、934SH 使い方ガイドをご参照ください。

## ご使用時の注意事項

<table>
<tr><td rowspan="1">⚠危険</td><td>本機に使用する電池パック・卓上ホルダー・充電器（オプション品）は、ソフトバンクが指定したものを使用してください。<br>● 指定品以外のものを使用した場合は、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、充電器の発熱・発火・故障などの原因となります。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">⚠警告</td><td>本機・電池パック・卓上ホルダー・充電器を、加熱調理機器（電子レンジなど）・高圧容器（圧力釜など）の中に入れたり、電磁調理器（IH 調理器）の上に置いたりしないでください。<br>● 電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、本機・卓上ホルダー・充電器の発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。</td></tr>
<tr><td>充電器をコンセントに差し込むときは、卓上ホルダーの端子および充電器のプラグや端子に導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないように注意して、確実に差し込んでください。<br>● 感電・ショート・火災などの原因となります。</td></tr>
<tr><td>モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光しないでください。<br>● 視力障害の原因となります。また、目がくらんだり、驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。</td></tr>
</table>

TCAUZA106AFZZ
09H 25.0 YM MK ③

- 本機は 3G 方式と GSM 方式に対応しております。
- 約 1ヶ月間、本機の電源を Off もしくは圏外にいた場合、ネットワーク自動調整の確認画面が表示されることがあります。ネットワーク自動調整を行わないと、本機のデジタルTVや本機で録画したTV番組の視聴、カメラ、メディアプレイヤー、S!アプリなどを利用することができません。
- 回線の解約後は、電話や通信機能だけでなく、デジタル TV や録画したデジタル TV 番組の視聴、カメラ、メディアプレイヤー、S!アプリなどを利用することができません。



## 防水性能について

- 本機は、端子キャップをしっかりと閉じ、電池カバーを取り付けてロックした状態で、IPX5（旧 JIS 保護等級 5）、IPX7（旧 JIS 保護等級 7）相当の防水性能を有しています。
- 本機は、端子キャップや電池カバーをきちんと閉じた状態で防水性能を保ちます。接触面に細かいゴミなどが挟まると、浸水の原因となりますのでご注意ください。
- 本機の防水性能は、常温（5℃～ 35℃）の真水・水道水にのみ対応しています。
- すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。
- 手や本機が濡れているときに、電池カバーや端子キャップの開閉は絶対にしないでください。
- 次のような液体をかけたり、つけたりしないでください。
  また、砂や泥が付着しないようにしてください。
  ・石けん、洗剤、入浴剤を含んだ水／海水／プールの水／温泉、熱湯　など
- 湯船やプールなどにつけないでください。また、水中で使用しないでください。（開閉、ボタン操作を含む）
- 風呂場など湿気の多い場所には、長時間放置しないでください。
  また、風呂場で長時間利用しないでください。
- 電池パック、卓上ホルダー、オプション品は、防水対応していません。
- 本機が水に濡れたときは、乾いたきれいな布で水分を取り除いてご使用ください。
- 水滴が付着したまま使用しないでください。
  ・通話不良となったり、衣服やかばんなどを濡らしてしまうことがあります。
  ・外部機器端子部がショートする恐れがあります。
  ・寒冷地では凍結し、故障の原因となることがあります。
- 落下させるなど、本機に強い衝撃を与えないでください。
  防水性能が損なわれる可能性があります。

## アウトカメラついて

- 本機は、カメラのレンズ前面にメカシャッター／ ND フィルタを搭載しています。
  撮影中、本機に強い衝撃が加わるとカメラ保護のため、メカシャッターが閉じ、画面が無表示になる場合があります。このときは、一度カメラを終了させ、再度カメラを起動すると復帰します。
- 本機を高温下で保管されていた場合など、カメラ周辺部の温度が高くなっているときは、カメラを起動できない場合があります。このような場合は、しばらくたってからご利用ください。
- 撮影場所や被写体に応じた方法で撮影したい場合は、以下の操作を行ってください。
  静止画撮影画面で✉➡「シーン」➡◉➡ シーン選択 ➡◉
  ・各シーンの補正効果説明を確認するには、以下の方法で確かめてください。
  ◉➡「カメラ」➡◉➡「静止画撮影」➡◉➡✉➡「シーン」➡◉➡ シーン選択 ➡✉
  シーン設定や被写体によっては補正効果が強調されすぎる場合があります。
- 撮影中の画像と保存された画像は見え方が異なる場合があります。
- カメラを連続動作させると、ボタンや電池カバーおよびカメラ周辺部の温度が上がりますが、故障ではありません。
  また、カメラを長時間連続使用してカメラ周辺部の温度が高くなった場合、カメラ保護のため、静止画／動画撮影中は告知メッセージ表示のあと動作終了、TV コール中は告知メッセージ表示のあと代替画像に切り替わります。
  このような場合は、しばらくたってからご利用ください。
- レンズカバーに指紋や油脂が付くとピントが合わなくなります。
  柔らかい布などできれいにしてお使いください。
- 明るい場所で、撮影モードの長時間露光を「ON」にして撮影すると、撮影した画像が真っ白になりますので、ご注意ください。
- **静止画撮影時、撮影環境によっては、モバイルライトが自動的に点灯することがあります。点灯しないようにするときは、# を２回押します。**
  ※カメラを起動するたびにお買い上げ時の設定に戻りますので、ご注意ください。

## 充電時のご注意

- 本機が濡れているときは絶対に充電しないでください。
  感電や回路のショートなどによる火災・故障の原因となります。
- 外部機器端子の端子キャップを開いて充電したときには、充電後しっかりと端子キャップを閉じてください。
  外部機器端子からの浸水を防ぐため、卓上ホルダーでの充電をおすすめします。
- 濡れた手で卓上ホルダー・充電器に触れないでください。
  感電の原因となります。
- 卓上ホルダー・充電器は、水周りで使用しないでください。
  火災・感電の原因となります。

## サブディスプレイについて

- 本機のサブディスプレイはバックライトがないため光りません。
  そのため、暗闇では視認できません。

## 電池残量表示について

- 本機は、以下の操作でディスプレイの電池残量表示を切り替えることができます。
  （ミニ電池表示）
  ◉➡「設定」➡◉➡ 本体設定画面で「ディスプレイ設定」➡◉➡「ミニ電池表示」➡◉➡ 表示形式選択 ➡◉

**残量**

- 電池残量の目安を表示します。

| FULL | LOW | % |
|---|---|---|
| 充電完了<br>（スモールライト消灯） | 電池レベル 1 以下 | 電池残量の目安を表示 |

- 充電中は、電池表示の背景がオレンジ色に変わります。
- お買い上げ時は、ディスプレイ消灯状態から点灯したとき、もしくはオープンポジション時にサイドキー（◀ か ▶）を押したとき、一時的に電池残量表示（%）をします。
- 電池パックの充電は、性能劣化を軽減するように制御されています。
  そのため、充電が完了しても、残量は 100%にならない場合があります。
- **「残量」は目安であり、実使用を保証するものではありません。**
  **また、以下の状態になっても故障ではありません。**
  ・電池パック容量は、周辺温度の影響を受けます。また、充放電を繰り返すことによって、使用できる時間は短く、容量は少なくなってきます。このため、残量は実際に使用できる時間との誤差を生じることがあります。

## S!メールについて

- **本機は、300Kバイトを超える添付ファイル（最大1Mバイト）を送受信できます。（大容量ファイル添付機能）**
  **本機能をご利用の場合には通信料がかかります。**
  **※パケット通信を安心してご利用いただくために、パケット定額サービスをご用意しております。詳しくはソフトバンクモバイルホームページ（http://www.softbank.jp）をご参照ください。**
  **※相手が対応してない場合は、メールが途中でカットされたり、ファイルが添付されない場合があります。300Kバイト以内で送信しなおしてください。**
- **受信したメールは、添付ファイルを含むメール全文が自動的に受信されます。特に海外では、パケット定額サービスの対象外となり、通信料が高額になる可能性がありますので、ご注意ください。（本文の一部を受信して、必要なメールだけ全文受信することもできます。）**

| 自動受信、添付ファイルに関する設定<br>共通操作：✉➡「メール／PCメール設定」➡◉➡「S!メール設定」➡◉➡下記の操作 | |
|---|---|
| 国内での利用時にS!メールを自動受信しない<br>[手動受信(日本)] | 「メール受信設定(日本)」➡◉➡「手動受信」➡◉(※1) |
| 海外での利用時にS!メールを自動受信しない<br>[手動受信(海外)] | 「メール受信設定(海外)」➡◉➡「手動受信」➡◉(※1) |
| 送信するメールサイズの上限を設定したい<br>[メール作成サイズ] | 「メール作成サイズ」➡◉<br>➡「300KB」／「1MB」／「300KB超添付時確認」➡◉(※2) |
| 受信するメールサイズを制限したい<br>[受信サイズ制限] | 「受信サイズ制限」➡◉➡「300KB」／「1MB」➡◉(※3) |
| 添付画像を拡大表示しない<br>[画像表示設定] | 「画像表示設定」➡◉➡「通常サイズ表示」➡◉(※4) |
| 添付ファイルの自動表示／再生を設定したい<br>[添付ファイル自動表示] | 「添付ファイル自動表示」➡◉➡「画像」／「サウンド」<br>➡◉➡「On」／「Off」➡◉(※4) |
| 撮影／録音した添付ファイルを保存しない<br>[添付ファイル送信時設定] | 「添付ファイル送信時設定」➡◉➡「保存しないで送信」➡◉<br>(※4) |

※1：「自動受信」のときは、添付ファイルを含む全文が自動的に受信されます。
　　通信料が高額になることがありますので、ご注意ください。
※2：「300KB超添付時確認」に設定しているときは、ファイル添付によってメールサイズが300Kバイトを超える場合に、メール作成サイズの確認画面が表示されます。
※3：「300KB」に設定した場合、300Kバイト以上のサイズのメールを受信する際にはサーバーにて添付ファイルが縮小されたり削除されたりすることがあります。
　　また、一度サーバーより受信したメールを再度異なるサイズで受信することはできませんので、ご注意ください。
※4：PCメールにも設定内容が反映されます。

| 自動受信するS!メールの種類やアドレスを限定したい[指定自動受信]<br>共通操作：✉➡「メール／PCメール設定」➡◉➡「S!メール設定」➡◉➡「メール受信設定（日本）」／「メール受信設定（海外）」➡◉➡「指定自動受信」➡✉➡下記の操作 | |
|---|---|
| 種類を選ぶ(複数選択可) | メールの種類選択➡◉(□／☑)➡(Y!) |
| 個別アドレスを登録する | 「個別アドレス」➡✉➡番号選択➡◉➡宛先選択方法選択<br>➡◉➡宛先選択／入力➡◉➡(Y!) |
| 登録した個別アドレスを削除する | 「個別アドレス」➡✉➡アドレス選択➡✉➡「削除」➡◉<br>➡「はい」➡◉➡(Y!) |
| 登録した個別アドレスを全件削除する | 「個別アドレス」➡✉➡✉➡「設定リセット」➡◉➡「はい」<br>➡◉➡(Y!) |

## PCメールについて

- PCメールアカウントを設定すると、パソコン用のアドレスのメールを本機で送受信できます。
- 次のような場合には、パケット通信料が高額になることがありますのでご注意ください。
  ・データ量の多いメールを送受信するとき
  ・自動的にメールを受信するよう設定しているとき
  （「自動新着チェック」が「On」）
  ・新着チェックの間隔が短く設定してあるとき
  （新着メールがなくてもパケット通信料が発生することがあります。）
- **海外では、パケット定額サービスの対象外となります。PCメール設定で、新着チェック設定の「海外使用時」を「有効」にしたり、頻繁に新着メールをチェックすると、サーバーに新着メールがない場合でもパケット通信料が発生することがありますので、ご注意ください。**

## 電池パックの持ちと消耗軽減について

- 次のような操作や設定をされた場合は、電池パックの消耗が早いため、本機の利用可能時間が短くなります。
  なお、電池パックは消耗品です。十分に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。新しい電池パックをお買い求めください。

**操作（例）**
・ウィジェットの自動通信機能を多用しているとき
・本機のポジションを頻繁に変更（オープン／クローズ）したとき
・カメラ機能を連続使用したとき
・テレビの視聴や録画／再生したとき
・メール作成など連続したボタン操作を多くしたとき
・インターネットを利用しているとき
・スライドショーを利用しているとき

**設定（例）**
・パネル点灯時間やバックライトの点灯時間を長く設定したとき
・バックライトや画面を明るくなるように調整したとき
・サブディスプレイ表示切替を頻繁に行なうように設定したとき
・Bluetooth®機能を「On」（有効）にしているとき
・赤外線通信機能を「On」（有効）にしているとき
・歩数計を「On」（有効）にしているとき

- 次の設定を変更すると、電池パックの消耗を軽減できます。
  ご使用にあわせた設定をおすすめします。

**〈照明や表示時間に関する設定〉**
・**バックライト**：点灯時間を短く、明るさを暗い設定にするほど軽減できます。
　◉➡「設定」➡◉➡本体設定画面で「ディスプレイ設定」➡◉➡「バックライト」➡◉➡「点灯時間／明るさ調整」➡◉➡時間選択／明るさ選択➡◉
・**パネル点灯時間**：点灯時間を短くするほど軽減できます。
　◉➡「設定」➡◉➡本体設定画面で「ディスプレイ設定」➡◉➡「パネル点灯時間」➡◉➡時間選択➡◉

**〈キーに関する設定〉**
・**キーバックライト設定**：「Off」にすると、「On」に比べて軽減できます。
　◉➡「設定」➡◉➡本体設定画面で「キーバックライト設定」➡◉➡「Off」➡◉
・**キーイルミ設定**：「Off」にすると、「On」に比べて軽減できます。
　◉➡「設定」➡◉➡本体設定画面で「音・バイブ・ライト」➡◉➡「キーイルミ設定」➡◉➡操作の種類選択➡◉➡「On／Off設定」➡◉➡「Off」➡◉

**〈映像に関する設定〉**
・**映像設定**：AVポジション設定が「ジャンル連動」以外の場合、明るさを変更できます。明るさを暗い設定にするほど軽減できます。
　テレビ視聴中に✉➡「AV設定」➡◉➡「映像設定」➡◉➡「明るさ」➡◉➡明るさ選択➡◉

## その他機能について（使い方ガイド☞P.27、P.48、P.50）

- 着デコは、着デコ対応のソフトバンク携帯電話どうしで利用できます。
  着信側の設定によっては、着信時に着デコファイルが再生されないことがあります。
  詳しくは、使い方ガイド☞P.50「ソフトバンクの便利なサービス」のバーコードを読み取って、サイト先をご参照ください。
- 本機を使用中に[辞書]を長押しすると、周りの人（正面以外）から画面表示を見えにくくすることができます。（ベールビュー）
  設定すると、画面の表示色が変わることがあります。
  詳しくは、使い方ガイド☞P.27をご参照ください。
- さまざまなアプリケーション（ウィジェット）を待受画面に貼ることで、待受画面からすぐにほしい情報や機能を入手／起動できます。
  **※画面点灯時は、ウィジェットを操作していない場合でも自動で通信を行う場合があります。自動更新しないようにするには、以下の操作を行ってください。**
  ◉➡「エンタテイメント」➡◉➡「モバイルウィジェット」➡◉➡「設定」➡◉➡「自動更新設定」➡◉➡「Off」➡◉
- **ソフトバンクショップ等でS!速報ニュースや、S!電話帳バックアップのサービス利用申し込みを行った場合、ネットワーク自動調整後に自動で通信が行われるようになります。**
  **※自動で通信しないようにするには、以下の操作を行ってください。**

  **S!速報ニュース**
  ◉➡「エンタテイメント」➡◉➡「S!速報ニュース」➡◉➡「S!速報ニュース一覧」➡◉➡「Yahoo!ニュース」➡✉(削除)➡「一件」➡◉➡「はい」➡◉

  **S!電話帳バックアップ**
  ◉➡「電話機能」➡◉➡「S!電話帳バックアップ」➡◉➡「自動同期設定」➡◉➡操作用暗証番号入力➡◉➡「On／Off設定」➡◉➡「Off」➡◉